

産業文教常任委員会記録

1 委員会を開催した年月日、場所及び時間

令和7年9月19日（金曜日） 議会第1委員会室
午後1時30分 開議 午後2時25分 閉議

2 出欠委員の氏名

委員長	浜 名	等（○）
副委員長	松 田	義 人（○）
委 員	岡 本	佐 市（○）
〃	寺 井	哲 也（○）
〃	櫻 井	英 一（○）
〃	新 田	義 昭（○）
〃	浅 野	俊 二（○）
議 長	山 本	泰 夫（○）

3 傍聴した者 なし

4 出席した説明員

岸市長、川口副市長、八島教育長、前田産業建設部長、野崎危機管理監、
山本農林水産課長、寺井商工観光課長、田中上下水道課長、西野生活安全課参事、
岩本上下水道課参事、中島教育次長、関軒企画振興室長、西村生涯学習課長、
牧山文化財課長、広島スポーツ推進室長
※市長はあいさつ後、退室（午後1時33分）する。

5 出席した事務局職員

事務局長 木村 繁成、事務局次長 野崎 直美、係長 澤田 朋子

6 会議の概要

浜名委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。

次に、岸市長からあいさつがなされ、その後、退室する。

次に、付託表、報告表に基づき執行部から説明を聴取し、その後、質疑・答弁がなされる。

終了後、採決に入り、議案3件はいずれも賛成全員により可決すべきものと決した。
陳情2件については聞き置く。

次に、付託案件以外の委員会所管事項について、質問・答弁がなされる。

次に、委員会における継続調査の申し出を議長に提出すること、併せて、委員会報告については、委員長に一任することを決定する。

最後に、浜名委員長が閉会のあいさつをし、会議を閉じる。

7 主な質問・応答等

【付託案件等に対する主な質疑・答弁】

浅野委員：市営住宅条例の一部改正について、指定管理者制度の導入によりどのような効果があるのか。入居者への説明はしたのか。

前田産業建設部長：災害復興公営住宅の整備で管理戸数が増える中、民間活用によって住民サービスの向上や人件費削減を目指している。住民への説明は、制度導入が決まった段階で行う予定である。

浅野委員：既存の住宅に関しても住民は不安を抱えており、過去には売却の話もあった。市の職員の仕事は実際に減るのか。

前田産業建設部長：住宅には、公営住宅法に基づくものと、それに基づかない定住促進住宅の2種類がある。前者は市の関与が必要で一部しか指定管理にできないが、後者は全てを指定管理とし、市の業務をなくすことが可能である。現時点では全住宅を指定管理の対象とするわけではない。民間業者に対してサウンディング調査を行い、結果を踏まえて今後の管理方針を決める段階にある。

浅野委員：住民が気にしているのは、家賃が上がるのか、老朽化した状態で放置されないかという点である。業者とだけでなく、住民向けの説明会もしてほしい。

川口副市長：定住促進住宅は既に条例上、指定管理者制度が可能である。今回の条例改正は、市営住宅にも制度を導入できる仕組みにするためのものである。民間のノウハウを活用すれば、24時間365日の管理が可能となり、対応の迅速化や住民サービスの向上が期待でき、住民にとっても良い制度と考えている。家賃は法律や条例に基づいており、指定管理者が自由に決められるものではない。

前田産業建設部長：今回の条例改正には家賃の改定は含まれていない。

新田委員：指定管理者制度が導入されても、保証人の取り扱いは変わらないのか。

前田産業建設部長：保証人は引き続き必要である。

浅野委員：身寄りがいない人や保証人を確保できない人もおり、今後が増えると思われる。保証人について、全国的には柔軟な対応をしていると聞いた。

前田産業建設部長：全国の状況は把握していないが、市では保証人が必要という方針で運用している。

浅野委員：町会長などが保証人の代わりになる場合もある。実情も踏まえ、全国の事例も調べた上で、支援が必要な人に寄り添った対応をしてほしい。副市長の考えは。

川口副市長：その点については、今後検討していきたい。

【その他の主な質問・答弁】

櫻井委員：スクールバスの事故について、運転手不足の話があるが、シルバー人材センターと会計年度任用職員の割合を教えてください。また、近年の事故件数は。

中島教育次長：運転手は16人おり、うち15人がシルバー人材センターで、残り1人が会計年度任用職員として用務員兼運転手を務めている。事故件数は、令和4年度は5件、令和5年度は3件である。いずれも壁にこするなど軽微な事故も含まれている。都度報告し、運転手には安全運転を徹底するよう指示している。

八島教育長：補足として、1名の会計年度任用職員は、余喜小学校の統合の際に、新たにバスを確保する必要があるが、シルバー人材センターで運転手の確保ができなかったため、教育委員会で運転経験者を会計年度職員として採用した経緯がある。

松田副委員長：西北台小学校の統合に伴い、スクールバスの対応が必要となるが、運転手確保の見通しを伺いたい。

中島教育次長：シルバー人材センターにも複数回依頼したが、運転手の確保は難しいとの

回答を受けている。高齢化や勤務条件とのミスマッチが要因。今後も何らかの手段で確保を進める所存であり、議員の協力もお願いしたい。

新田委員：時給はいくらか。年齢制限の有無と、飲酒検査についても教えてほしい。

中島教育次長：時給は約 1,928 円である。年齢制限は設けていないが、平均年齢は 70 歳程度で、適性があれば問題ない。飲酒検査は厳格に実施している。

櫻井委員：三ツ屋町、深江町のは場整備が震災で停滞している。今後の見通しはどうか。整備を見越して耕作をやめた田が放置され、草が伸び放題になっている。高齢化や市外在住の所有者も多く、除草が困難であるため、補助制度があるなら、市を通じて支援・助言をお願いしたい。

山本農林水産課長：農業系事業は他の災害のインフラ工事より後回しになる傾向がある。補助制度については県に確認の上、地元と調整するよう進めていきたい。

櫻井委員：子浦川の堆積土砂や木の繁茂がひどく、大雨時には流木による被害が懸念されている。県に撤去の要望をしてもらいたい。

前田産業建設部長：県管理の河川については毎年要望を行っており、子浦川の状況も把握している。豪雨時の水位上昇も確認済みで、石川県が緊急土砂除去の補正予算を組んでいることから、優先的な対応を要望していく。

浜名委員長：堆積土砂だけでなく、流木等の除去も対応していただけるよう要望したい。

浅野委員：柴垣の護岸について、相続関係で手続きが難しい場所もある。半分くらいは判子をもらえそうなどところもあるので、危険な部分から着手し、県とも連携して進めたい。町会で複雑な問題があれば弁護士を入れるなどして対応したい。費用の一部を市が補助できれば理想だが、無理なら町会で負担をお願いしたい。また、既設護岸がかなり傷んでいるが、今後の予定はどうなっているのか。

前田産業建設部長：柴垣海岸の護岸工事は市が主体となり、国・県の補助を受けて実施する計画だ。相続の問題が解決し、土地が市の所有になることで整備が可能になる。漁港の浚渫作業も今年予定しており、その土砂を護岸補強に利用することも検討中である。

浅野委員：グランピング施設付近の通行止めは解除されたが、その道路の舗装も町会と話し合いながら進めたい。また、地域にサーファーが増えたことや、ごみ問題も深刻だ。ゴミ収集については、柔軟な対策も検討してほしい。

前田産業建設部長：私道整備については、所有者が行うのが基本だと認識している。

浅野委員：もし土地を寄付する形になれば、町会や個人負担など方法を含めて協議したい。道路整備も町会から要望があれば相談に応じる。

西野生活安全課参事：海岸のごみ清掃は県が管理しており、市は県の委託を受けて清掃業務を代行している。今後も県と相談しながら最適な方法を検討していきたい。

浅野委員：もし県が千里浜海岸のような対応をしてくれなければ、市が所有する車を貸してもらえないか。

西野生活安全課参事：その案も含めて、最適な対応を検討させていただく。

令和 7 年第 5 回定例会議案付託表

産業文教常任委員会

番号	議案番号	議 件
1	議案第 4 9 号	羽咋市営住宅条例の一部改正について
2	議案第 5 0 号	市道路線の認定について
3	議案第 5 1 号	令和 6 年度羽咋市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

令和 7 年第 5 回定例会議案報告表

産業文教常任委員会

番号	議 案 番 号	議 件
1	報告第 2 4 号	損害賠償額の決定の専決処分の報告について
2	報告第 2 5 号	損害賠償額の決定の専決処分の報告について